

部会から

化学部会60周年記念行事アラカルト

60th anniversary ceremony of the Chemistry Division, à la carte

1 はじめに

化学部会が創立60周年となるのを記念し、2018年9月29日（土）に星陵会館（東京都千代田区永田町）で記念行事を開催致しました。

来賓として文部科学省から坂本修一氏（科学技術・学術政策局人材政策課長）他1名、経済産業省からは沼舘建氏（製造産業局素材産業課革新素材室長）他1名、及びマスコミから野開勉氏（化学工業日報社企画部部長）他1名（記者）をお招きし、化学部会の生い立ちを紹介しつつ、今後の部会活動に来場者の皆様からエールを送っていただけるよう行事内容を工夫しました。



写真1 秋葉化学部会長の挨拶

2 記念式典の内容

29日午後の記念式典では、アトラクションとしてソプラノ歌手によるピアノ伴奏付き歌唱で来場者をおもてなしし、和やかな雰囲気の下で基調講演を聞いていただくことに致しました。

3件の基調講演は、大日本住友製薬（株）の多田会長による「医薬品産業に将来はあるか?」、日本化学工業協会の渡辺専務理事による「化学産業による世界に向けた貢献の可能性」、東京大学工学系研究科の加藤教授による「次世代の機能性マテリアルを作る夢の分子技術」というものでした。聴衆は月次の講演の3カ月分を1日で聞いた

感じだったと思います。

皆様は、化学産業の将来について各界の先駆者から広範な知見を得たことでしょう。



写真2 講師による講演風景

パネルディスカッションは「化学部会の次の60年に向かって～我々技術士は何をすべきか～」をテーマとするもので、若手技術士が中心になり、統計データ、アンケート結果、女性技術士の視点等が紹介され、化学部会の現状・現在の活動情報を基にして会場を巻き込んだ討論が行われました。



写真3 若手の会のパネリスト

前半の記念式典への参加者は約130名で、中でもこのパネルディスカッションを文部科学省の坂本課長、経済産業省の沼舘室長、日本技術士会の高木会長、幹部の方々が熱心に聞き入っておられました。

3 化学部会60周年記念誌

60周年の“記念として残るものを”ということで記念誌を発行致しました。歴代の理事や部会長の名簿の整理、先輩方の消息、記念誌への投稿

依頼、原稿のボリューム調整、テンプレートの発送、集めた原稿の校正、掲載する写真集め、過去の講演データ集め、表紙と裏面のデザイン、それに当初から危惧されていた赤字削減のため名刺広告の呼びかけと企業広告集め、発行部数の検討等々とやることは数多くありました。しかし、若手の会の皆さんが編集委員会を構成し、頑張っ立派なものに仕上げてくださいました。

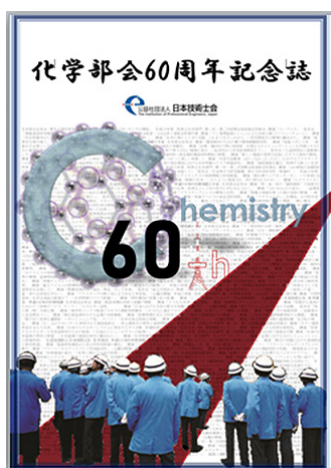


写真4 60周年記念誌の表紙デザイン

記念誌には、これまでの化学部会、これからの化学部会について歴代理事、歴代部長・部会幹事、それに若手の会の会員による“想いを載せた寄稿”がありました。とても読み応えのあるものです。

また、記念誌の表表紙と裏表紙のデザインが中々凝っていて、表表紙には60周年に引っかけでC60のフラーレンが描かれております。そして機械振興会館の目の前にある東京タワーが、「60th」の「t」の文字として配置されております。また裏表紙には化学部会らしく「周期表」をあしらひ、元素記号らしきものは化学部会歴代部長の名前のイニシャルを記載しており、原子番号や質量数等を表記する場所には就任期間の年代が入っています。このデザインは若手の会の女性スタッフ（JABEE 修了生）の創作です。

4 60周年記念パーティー

記念式典が終了した後、会場を星陵会館4階のレストラン「シーボニア」に移し、新旧技術士が交流する記念パーティーを開催致しました。この記念パーティーには招待者を含め約110名の

方々が参加し、大変盛り上がったものになりました。



写真5 懇親会での交流風景

また、記念パーティーをより記憶に残るものに味付けするために、「ファイブスターズ」というプロのバンドを呼びました。懐かしい曲やアップテンポの曲を歌手が歌唱し、楽しさが倍加するものになりました。



写真6 プロのバンド「ファイブスターズ」

5 おわりに

本記念行事を準備するまでに実行委員会内に企画係、渉外係、会場係、イベント係、会計係、記念誌係等を置き、課題をひとつずつクリアーして開催に漕ぎ着けました。当初の赤字をどこまで減らせるかが一番の課題でしたが、終わってみれば、平成30年度予算に挙げた赤字額の半分で済んだのは僥倖でした。携わった化学部会の若手の会を含む世話人の方々に本当に御礼申し上げ、60周年記念行事の報告と致します。

秋葉 恵一郎 (あきば けいいちろう)
技術士 (化学部門)

化学部会長
e-mail : akibak@yg8.so-net.ne.jp

